

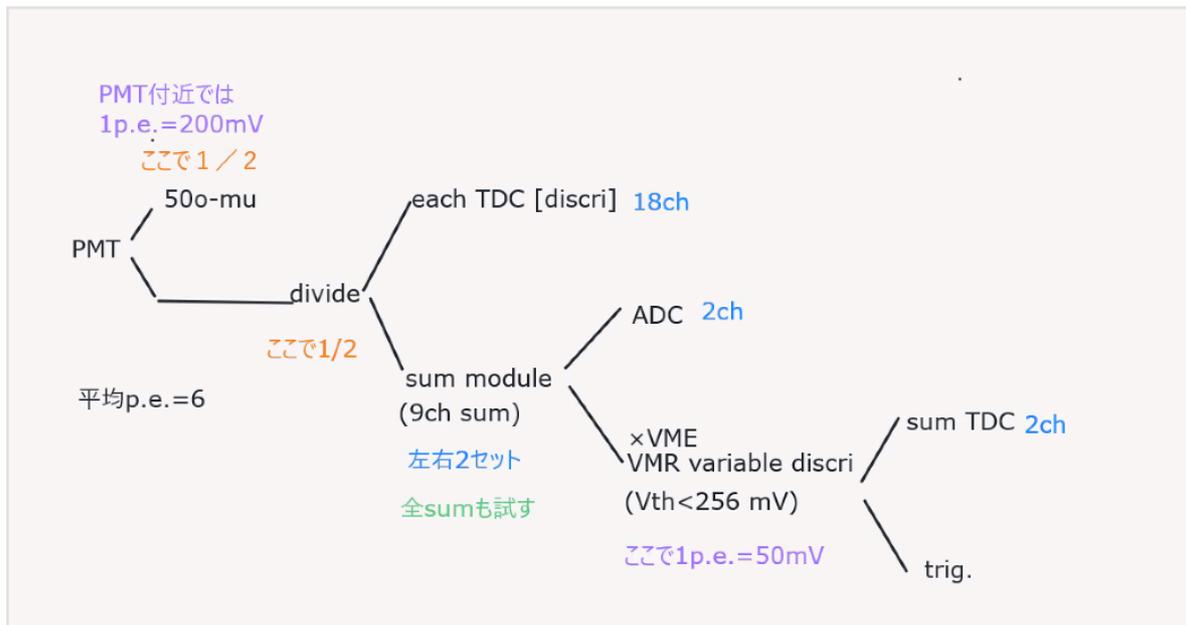
# S2S meeting 20220708

## 参加者

永江、七村、原田、江端、早川、時安、坂尾、藤岡、根岸、宇根、小堀、高橋、鵜養、山本、市川

## 報告・議論

- 下流カウンター系
  - **インストール前にマーカー打ち**
    - 検出器本体
    - 床の設置予定箇所
    - アンカー位置
  - AC
    - エアロゲル整理まえの様子では、元のエアロゲルはちちんでいそう
    - 収縮率の三乗で屈折率に効いてくる
    - 屈折率が上がるとLowP Kaonでも光ってしまい、"光ったらPion"としてしまうとKaonを殺してしまうことになる
    - 対応
      - 余っているエアロゲルの屈折率を調べる
      - 光量に閾値を設ければ、PionとKaonの分離は可能なので、**ADCを取る方向で進める**
      - また、ACのefficiency評価のため、**WC下流にAC (n=1.03) を設置しておく**
    - PMT直後の信号は1photon=200mVくらいあるので、Sum信号をディスクるモジュールのレンジを超えてしまう ( $V_{th} < 256 \text{ mV}$ )。適当に波高を下げる処理が必要。
    - **Sumについては、全体Sumするか左右分けてSumするか検討が必要**
      - 全体Sumにするとベースラインのノイズレベルが高すぎるか
      - 実際にオシロで見てみて考える
    - Pion除去が目的なので、Thresholdは高めに設定する（安全サイドに立って）
    - トリガーからACを抜く？=TOFxWCxMatrix
    - Matrixは用意しておく



- SDC in
  - フレームデザイン中 (江端)
  - **SDC2の設置方法についてさらなる検討が必要**
- AFT
  - ファイバーの曲がり具合は問題ないのかももう一度確認しておく
  - **MPPC台から飛び出るファイバーの長さは最短で2, 3mmほどだが、これで問題ないのか**
  - **MPPC台を横に並べずとも上下交互にすることで飛び出るファイバーの長さを長くできないのか再検討**
- BAC
  - BACの厚さが問題になりそう
    - 物質厚が結構あるので、分解能に効いてくる。cf.) 後神 (Pi, K) proposal ← 1MeV分解能要求
    - E70では他の要因が支配的なので、あまり気にする必要はないと思う
      - **気になるなら、BACの厚さを薄くすることを考える**
      - E42 BAC (=E13 SAC) を使う
      - E07 BACの2段あるのを1段にする
    - **ただ、S-2S評価のためビームスルーをとる時にはBACありなしのRunはやるべき**
- J-PARC
  - 電気代高騰 → 運転時間が短くなる予想
  - 夏前までに予定していたハドロンStudyが一部秋以降に持ち越し
  - 結果、ビームタイムは1月以降がもっともらしい
  - 詳細な情報は今後の議論が待たれる

## 予定

作業本格再始動：7/19~ (人員を求めるとしたらこの辺りから)

カウンターインストール (クレーン) : 7/28?

